

社説

海軍の經理法

今度の海軍擴張は第一期第二期を通じて今後九個年間に完成の計畫にして其經費は二億一千餘萬圓の豫算なれども目下四邊の形勢より見れば其計畫は尙ほ未だ不足の感を生かざるが故に其年期を短縮するは勿論、更に大に經費を支出して第三期第四期の計畫を必要と認めざるを得ず我輩の敢て主張して國民の同意を得む所にして其目的を達する爲めには増徴の負擔も辭す可らずとの覺悟を顯明すると同時に一方には政府の當局者に対して大に望む所のあり抑も海軍は最も費用を要するものにして經理の一點は世界の國々に於ても最も注意する所なり苟も自國自衛の爲めとあれば其費用は敢て吝しむに足らず其實際に有効有力の軍備を備ふるも必要なれども我輩の所謂有効力とは單に規模の大なるのみならず其費用に割合はせて相當の實を認めんと欲するのみ國民たるもの既に海軍の必要を認めて之が爲めには増徴を辭せずとの決心ある上は日本現在の國力にては其費用は容易に辨す可し毫も掛念するに足らざれども國民より支出したる巨万の金を使用して如何なる軍備を備ふ可きや當局者の責任にして其人々の心算は甚だ大切なりと云ふ可し計畫の實際に達しては自から當局者の方寸に存して局外より云々するの限りに非ざれども其費用は國民より支出したる國庫にして其國庫を以て造りたる軍艦兵器は取りも置かず國庫の財源にふとあれば其國庫を取扱ふ當局者の責任は決して輕からず一家の小經濟に於ても其理法は甚だ現況や巨萬の金を使用する海軍の經理法に至りては其當否如何に非常の影響なきを得ず擴張の爲めの費用は敢て辭せざる所なれども實際に備へ得たる軍備は其費用に割合はせて果して相當の者なりや否や即ち軍備の實際は其規模に割合せて果して有効有力のものなりや否やの點は國民の最も關心する所にして當局者の責任甚だ大なり前年海軍部内不整理の噂、世間に喧しく議論なきも頻りに喋々して政府にても改革委員を設けて整理に着手したるものとあり實際の事情如何に知らざれども兎に角に改革の必要なりしを見れば多少不整理の事實はありしものと認めざるを得ず今日に至りては改革の事もあり又實際に會計法の規定もありて所謂不整理の事實は歸を絶するものとならん敢て疑はざる所なれども我輩の聞く所に據れば今の經理法は年來不整理の反動として事ろ窮屈に失し實際に不運の事も往々少ならずと云ふ果して然るや否や國庫の經費は漸じて許す可らずと雖も徒らに事を苛難にして費す可き處に費さず俗に云ふ一文吝しみに陥るときは何等も事ならずして有効有力の實を成し可らず何れにしても當を得たるの處はと云ふ可らず例へば士官の俸給研究は最も大切なるに其研究の費用を削減するに於てはラッセル年一冊一冊とも各軍艦に備ふるに能はざるが如き事實はなきや、海軍人の生活費は陸軍人に比して自から多き事情あるにも、海軍の訓練費の割合の如き陸軍より少くなくして止むべき自費を以て辨するの場合などはあらざるか又海軍の訓練費は日清戦争中に全國の人民が義勇奉公の誠意より軍費又は他兵の名を以て抽出したる義金の如き果して其目的通りに使用せられて一般の志を空うせざりしや否や何れも些細に似たれども些細の點は飽くまでも細密にして恰も一文吝しみの行動に類しながら軍艦兵器の製造注文軍港船渠の建築修繕等の如き巨額の費用を要する事務に付し一點の不注意もあらんには非常の損失にして所謂百知らずの愚を演ずるものと云ふ可し世人が海軍の不整理を云々したるは其經費を警しめたるのみ今日擴張の場合に際して苟も必要の費用とあれば之を吝しむものはある可らず國民の快よく承知する所なれども其國庫を費して實際に有効有力の實を挙げ費用に割合はせて相當の軍備を備ふるは當局者の國民に對する義務なりとして大に注意す可き所なり

○京都雜信

二月九日京都にて 特派員 宮本芳之助

大葬餘聞
今度の御大葬に就ては派員後日淺く精細の報道を爲す能はざるは讀者に對して記者の大に慚謝する所なれども、準備嚴重、彼是共に多忙の際十分なる能はざるも亦是非なきなり已に昨日を以て御埋葬も事なく済ませられたれば尙ほ葬儀の一二を聞くがまじに報道すべし
大喪主殿下 には昨日御埋葬式を済ませられて午前十一時五分山より堀江、山口、佐伯、杉田の四警部に警固されて御歸館ありしが殿下には來る三月一日の五日日祭をも行はせられて同五日に御歸京あらせらるゝやには内定したるよし
朝鮮大使 には例の如く一層目に立ちたる朝鮮服を着け従者三名を従へ一昨夜の五時過ぎ大喪使事務官に案内されて真宗中學校の休憩所に入り來るを見受けたりしが同大使は純銀高さ六寸の圓形の花瓶と高さ二尺許りの松樹を心とし紅白梅、紅白牡丹、白芍薬、黄菊等にて御傳達方を托して式場に参列したるが昨日午後八時四十分鐘の汽車にて東上したるよし
御車牛 には昨日主馬寮の掛員山内を曳歩いて運動を爲さしめ尙ほ夢の浮橋より東十五間の處なる觀音の雨側に奉仕しつゝ御車を御齎場内に曳き入れしめ又御齎場より駕馬丁をして同じく御齎場内に撥ひ來らしめ御車の傍に並べ明日より三日間御車牛と御車に一般の市民に拜觀を許すよしに聞けども御車と御車とは齎場の幕内に單に其外形のみを拜觀せしむるならんと云ふ
拜觀實情 京都後素會員は大葬御列の儀式を寫影するの特許を得て親しく其御儀を拜觀したれば御齎場を丁りたる後長き道りへも献納する計畫なりとぞ
辨當の施與 御大葬の當日は朝來拜觀人の混雑一方ならす立廻りの實情もは要辨當なき携へたるもありたれど齎場及び拜觀人等は東西の奔走に便せられたるのみを畫數さへ與せざるものありて空腹に慍えかねたるものあれば供事員の勞苦甚しい一通りならざるを思へば飯食はすに拜觀したる向も尙からず真宗中學校の休憩所に於ける南廡の一隅にては燈火を熾にし湯茶の供給到らざる所なきやう見受けたり然れども折

の辨當山の如くなるは何れの人に供したりしにや開けば大齎場に於て一萬人分を用意したるも參列員及び拜觀人に與ふるまでの手當はさきりしより多くの剩餘を生じ昨日泉涌寺近傍の住民千四百餘戸及び市内の貧民部落に施與したりと云ふ
皇族方の御忍耐 には今に始めぬ事ながら御大喪の當日より一日の御埋葬を済ませらるゝまで大喪主殿下の喪服を着けさせられたるは申すまでもなく伏見、小松、久邇、華頂、山階、栗本等の各宮殿下には夜を徹して風霜月露の寒さ深き泉山の御陵墓なる御須屋の傍にたすみたまひ一層御齎場に於てはしたる其忍耐には齎主齎官もひたすらに忍縮し奉りたりとぞなん最とありがた

時過ぎ歸館し、高橋に赴くは、樺山大ホテルに招集し、教懐たる由なるが本日午後高橋大臣と共に午後零時過ぎに歸館する山
儀仗兵の出發 一時きたる近衛、第四師團りたひくに出發時日本大阪に歸り奥一三師團長は昨日午後



上りたるよし
停車場の儀仗 には新儀仗の外切手を符を買ひたりしもの七日の來着者は同二千三百餘人なれど一日に倍する程
○御大葬繪巻
御風氣中なりし爲御大葬繪巻は御大葬の御齎場中より山縣大將をこれづれ相共に南齎寺の近傍を歩きて四